

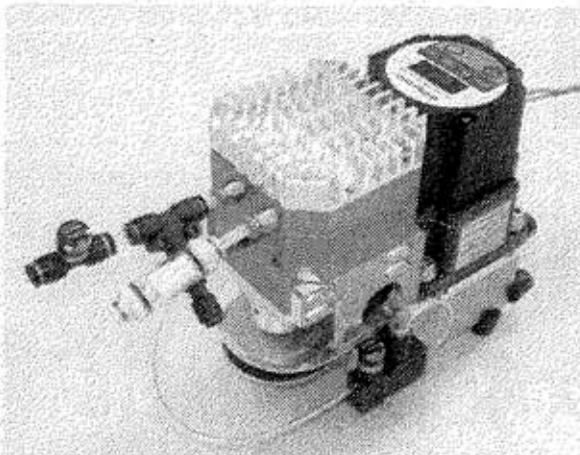
最小の空気圧縮機開発

坂製作所、NKEと協業

精密加工生かし脱下請け

【京都】坂製作所（京都市右京区、坂栄孝社長、075・463・4214）は、「脱下請け」を目指し自社製品を投入する。本業の精密部品加工で蓄積した技術で小型コンプレッサーを開発し、2013年中に発売。あわせて、営業力向上や応用製品の開発にも取り組む。18年には売上高の約20%に相当する7000万円を自社製品としたいと考えた。

開発する小型コンプレッサーは高さ150mm×幅150mm×長さ250mm以下で、他社の同製品と比べても最小。手軽に持ち運べ机上でも操作できる省エネ・コンパクトな圧縮空気供給装置



で、工場のほか家庭、介護、農業といったニッチ（すき間）な分野での用途も開拓する。価格は未試作した小型コンプレッサー

定。

京都府が開発を補助する「中小企業技術開発促進事業」に基づき、11年度にNKE（京都府長岡京市）と共同開発した技術がベース。NKEは空圧自動化機器の有力メーカーで、坂製作所に部品加工を発注している。空圧の省エネ化を求めるNKEと、精密加工を得意とする坂製作所の協業で、独自の技術開発を実現した。

坂製作所の取引先は大手電機メーカーが多い

が、受注変動も大きい。そこで06年に中国工場開設による海外展開に続き、自社製品を事業の柱に加えることにした。新需要を開拓する営業力については、展示会出展や社員の営業教育、サイトの品質向上などで強化。今後は顧客ニーズを取り込む提案型営業やコンプレッサー中心の応用製品などで事業を育成する。

和重工 生産体制を再構築

イル鋳物の受注強化、エンジン鋳物部品でガスエンジン部品への進出検討などの取り組みを強めて

ちよつと訪問

タナベはタクシマー製造などを手がける。メーターも最近では料金表示以外に電子マネー対応型など、付加価値をつけた製品が要求される。ただ、ソフトウェア部門に7人を置き、独自開発に磨きをかけているため、田辺誠一社長は「自社

タナベ



田辺 社長

「古いだが、創業は」と歴史を積

京都観光支える開発

「と胸を張る。決めた」と、京都工業が60%で、それ以外にこの発光式車載用カメラやドライブレコーダーだが、戦する姿勢「会社の発展を考える」と福祉関連への参入を景気の波を

「フーデックスジャパン」内外2300社が出展

食の専門展

日本能率協会と関連団体が開催する食品・飲料専門展示会「FOOD EX JAPAN（フーデックスジャパン）」に世界66カ国・地域から200社が参加することになった。海外から130社、日本から1000社が出展する。5日から4日間、千葉市の幕張メッセで開催、フードサービス、流通・卸のバイヤーら7万5000人が参